

経	由
議	長
	

政務活動費交付請求書

令和8年1月30日

四日市市長

会派名 市民目線の会
 代表者氏名 小林 博次

四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、
 令和8年1月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請求額 114,764円

2 政務活動費の対象となる経費

区分	金額	備考
調査研究費	8,245	視察
研修費	14,440	研修
資料作成費	0	
資料購入費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
広報費	0	
広聴費	0	
人件費	0	
事務費	92,079	複合機使用料、リース料、SIMカード利用料、NHK受信料
合計	114,764	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。



経理責任者
水谷

内 訳 明 細

令和8年 1 月分 No.2

水谷 一未

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	8,245	視察
研 修 費	14,440	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 費	11,410	
合 計	34,095	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会							
参加者氏名	水谷一未							
用務先	伊勢市							
実施日	令和7年12月27日 (土)							
目 的	研究会参加							
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
12/27	近鉄 四日市 ~ 五十鈴 川	70.2 KM	近鉄	1,300 円	920 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	五十鈴 川 ~ 近鉄 四日市	70.2 KM	近鉄	1,300 円	920 円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				2,600 円	1,840 円	0 円	0 円	0 円
合 計				4,440				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 7年 12月 29日

実施日時	令和7年 12月26日（火）14時00分～16時00分
参加者氏名	水谷一未
用務先	あさけプラザ
対応者	伊藤まさし氏。大野ひろふみ氏
目的・内容	<p>新型コロナワクチン接種後の健康被害、特に死亡事例について、国の認定制度と実際の死亡数との乖離を把握し、地方自治体として収集・保存すべき基礎データを整理することである。資料では、「ワクチン副反応しか考えられないのではないか」という問題提起のもと、ハインリッヒの法則（1：29：300）を援用した予測計算が示された。具体的には以下の仮定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康被害認定死亡者数：約1,000人 進達されていても認定されない死亡者数：約2万9,000人 進達されていない実際の死亡者数：約30万人 <p>この考え方に基づき、各市町村の「健康被害認定死亡者数」から、実際の死亡者数を推計できる可能性が示された。</p> <p>【事例：松阪市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康被害認定死亡者数：3人（2025年7月31日現在） 想定される実際の死亡者数：3人×300＝約900人 <p>実際に、2021年から2024年にかけて、松阪市では人口統計学上、約800人程度の異常な超過死亡が確認されており、2025年7月末まででは約900人に達する可能性があるとの説明がなされた。</p> <p>そのため、以下のような形で自治体として事実を整理・発信することの重要性が示された。</p> <p>また、地方自治体として最低限、情報収集・整理しておきたい項目として、次の点が挙げられた。</p> <ol style="list-style-type: none"> コロナワクチン接種状況、各回の接種済み人数、年齢別内訳、接種日、ワクチンの種類 予防接種健康被害救済制度の認定者数 超過死亡者数（自治体の人口動態統計から算出）

成果・所感

国の健康被害認定制度で把握されている数字は、実態のごく一部に過ぎない可能性があることを、具体的な数値と自治体事例をもって認識することができた。

特に、

- ・各自治体ごとの被害状況の把握
- ・製薬企業別・ロット番号別による被害差の検証
- ・人口統計に基づく超過死亡との突合

といった分析は、地方自治体だからこそ可能であり、かつ今後の検証に不可欠であると感じた。

何より重要なのは、「証拠隠滅を防ぐために、事実を残すこと」であり、接種状況、認定状況、超過死亡といった一次データを自治体が責任を持って保存・整理することで、将来にわたり検証可能な貴重な記録となる。

本視察で得られた視点は、単なる過去の検証にとどまらず、今後の予防接種行政のあり方、市民への説明責任、そして命を守る政策判断の基礎資料として、未来永劫活用されるべきものであると強く感じた。

現在政治 研究会

第1回テーマ 健康問題と日本の歴史の 現在地を学ぶ二日間

開催概要

- ・ 日程：2025年12月26日(金)～27日(土)
- ・ 対象：地方議員、議員補佐者、政治を学びたい社会人・学生
- ・ 主催：現在政治研究会
- ・ コーディネーター：伊藤昌志(元四日市市議会議員)
- ・ 開催地：三重県(四日市市・伊勢市)

目的

1. 3日ナワクチン行政と健康被害対応の最新状況を学ぶ
2. 三重県の歴史と文化、日本精神を考察し、政策の原点を見つめ直す

参加費

議員・一般：10,000円(2日間)※1日目のみ5,000円・2日目のみ5,000円
学生：4,000円※資料代/運営費含む・交通/宿泊は各自

備考

- ・ 研修証明書発行
(自治体議員の研修実績として活用可能)
- ・ 健康、安全への配慮として、公平中立な立場から議論
- ・ 先着30名まで



コーディネーター
伊藤昌志

参加申込みはこちら



プログラムは裏面へ▶

プログラム

1日目 【四日市：健康問題と現在地】

12月26日(金)

時間：内費

14:00～16:00 開会

コロナワクチン副反応と行政対応の現在地・厚労省発表データの読み解き
ワクチン健康被害救済制度の問題・自治体議会ができること

18:00～20:00 ドキュメンタリー鑑賞と討論 WHO・製薬業界の構造を考える
(資料映像視聴) グループディスカッション

2日目 【伊勢：国のルーツと政治の原点】

12月27日(土)

時間：内費

10:00～12:00 伊勢学

日本の国体とは何か・伊勢神宮(宇治橋周辺)フィールドワーク
「賦い」'常道' 思想が政治に与える示唆

13:00～14:30 まとめと政策提言作成ワーク
学びを政策に落とし込む演習・閉会

～こんな方にお勧めしたい会です～

- ・ 三重県での出来事を詳しく知りたいかた
- ・ 政治や行政のあり方などにご興味のあるかた
- ・ 政治勉強会に関心のあるかた

参加申込みはこちら



プログラムは裏面へ▶

主催者：伊勢から日本を元気にする会

〒516-0078 三重県伊勢市東町一丁目7番10号

info@shingigaku.com

参加申込みはこちら



（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 7年 12月 29日

実施日時	令和7年 12月27日(火) 10時00分～12時00分
参加者氏名	水谷一未
用務先	宇治神社
対応者	行政書士 富安利治（元伊勢市議会議員） 宇治神社宮司 中山貴生
目的・内容	<p>自治体の予算・決算を議会としてどのようにチェックし、事業の実効性と財政の透明性を高めていくかについて、実践的な手法を学ぶことである。</p> <p>意見交換の中では、ケーブルネットワーク会社（ケーブルリビング）の協力により作成された、自治体予算・決算を俯瞰的に把握できる Excel シートの活用事例が紹介された。このシートは、当初予算、補正予算、決算の都度数値を更新することで、常に最新の財政状況を把握できる仕組みとなっている。</p> <p>特徴として、人件費、事務費、委託費（請負費）、保険料、福利厚生費などを大括りで整理し、事業費に対してどの費目がどれだけの割合を占めているのかを一目で把握できる点が挙げられた。</p> <p>これにより、仮に数百万円規模の事業費が計上されても、実際には事務費や人件費で大半が消費され、本来の事業目的に使われる費用が2割程度にまで低下しているケースが少なくないことが明らかとなった。</p> <p>また、総合計画（概ね10年）および実施計画（概ね5年）と予算との関係性についても説明があり、これらの計画に位置付けられていない事業が突如予算化される場合には、特に慎重なチェックが必要であることが共有された。初年度に設計費のみが計上され、翌年度以降に多額の事業費が発生する構造についても、注意点として示された。</p> <p>さらに、国庫支出金、県支出金、市債、寄附金、一般財源といった財源内訳を整理することで、歳入と歳出の対応関係を明確にし、事業全体の実像を把握する重要性が確認された。</p> <p>伊勢市宇治地区に鎮座する宇治神社を訪問し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 宇治神社の歴史的背景および地域における役割 ● 伊勢神宮との関係性や信仰の重層性 ● 「足神信仰」をはじめとした民間信仰の形成過程 ● 神社が果たしてきた精神的・文化的拠点としての意義 <p>について理解を深めることを目的として実施した。</p> <p>あわせて、地域資源としての神社の価値や、観光・教育・地域づくりへの活用可能性について検討することも目的とした。</p>

成果・所感

分厚い予算書・決算書を読むだけでは見えにくい課題も、数値を整理し「見える化」することで、極めて明確になることを実感した。

特に、

- 事務費・人件費が事業費を圧迫している実態
- 中長期計画に位置付けられないまま進められる事業のリスク
- 設計費段階でのチェックの重要性

といった点は、議会が果たすべきチェック機能の核心であると感じた。

議員には予算執行権はないものの、調査権と監視機能を最大限に活かすことで、行政に対して実質的な緊張感を持たせ、結果として予算の質を高めることが可能である。

また、「事業に予算を付ける」のではなく、「人に予算を付け、成果で評価する」というプロデューサー型の発想は、今後の行政運営や事業推進のあり方を考える上で、大きな示唆を与えるものであった。

本視察で得た手法は、特定の自治体や個人の経験に依存するものではなく、再現性の高い議会チェックのモデルである。今後は、自身の所属自治体においてもこの手法を活用し、数字に基づいた建設的な議論を通じて、市民にとって真に有効な事業が実施されるよう、議会の役割を果たしていきたい。

宇治神社は単なる観光資源や信仰施設ではなく、

- 伊勢神宮を支える歴史的・精神的基盤
- 地域のアイデンティティを形成してきた核
- 現代においても人々の心を整える場

として重要な役割を担っていることを再認識した。

特に、足神信仰に見られる「結果よりも向き合い方を大切にする」という価値観は、現代社会においても示唆に富むものであり、教育や人材育成、地域づくりの観点からも学ぶ点が多いと感じた。

また、式年遷宮や御用材の継承といった仕組みは、文化財の保存にとどまらず、人と自然、地域と信仰を循環させる持続可能な仕組みとして評価できる。

今後は、こうした歴史的・文化的価値を、地域住民や若い世代、来訪者にわかりやすく伝えていく取り組みが重要であり、行政・教育・観光との連携を通じて、宇治神社を核とした地域の魅力発信につなげていく可能性を感じた視察であった。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会							
参加者氏名	水谷一未							
用務先	豊橋市							
実施日	令和8年1月15日 (木)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/15	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 豊橋	68.0 KM	私鉄	1,270 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	豊橋 ~ 名古屋	68.0 KM	私鉄	1,270 円	円	円		
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				4,060 円	1,040 円	0 円	0 円	0 円
合 計				5,100				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究)、研修、要請・陳情活動、会議) 報告書

令和8年1月17日

実施日時	2026年1月15日（水）13時30分～15時30分
参加者氏名	市民目線の会 水谷一未
用務先	豊橋市 「あいくる」動物愛護センター
対応者	豊橋市保険所生活衛生課 豊橋市動物愛護センター所長 小野 剛 豊橋市保険所生活衛生課 豊橋市動物愛護センター主査 下司 高弘
目的・内容	別紙参照
成果・所感	別紙参照

別紙添付あり

視察目的・内容

本視察は、豊橋市が整備・運営する動物愛護センター「あいくる」を訪問し、動物福祉の向上と人と動物が共生する地域づくりの取組について調査することを目的として実施されました。以下の5点について施設担当者からの説明および質疑応答を通じて確認を行ないました。

- ① 動物愛護センター設置に至る経緯
- ② センター設置までの協議体制
- ③ 動物愛護ボランティアとの連携体制
- ④ 収容・譲渡等の実績と成果
- ⑤ ネーミングライツ制度の導入効果

施設見学では、展示ホール、多目的ホール、猫モデルルーム、トレーニング室、グルーミング室、処置検査室、手術室、譲渡室、車庫などを視察し、動物の福祉と市民利用の両立を意識した設計・運営方針について説明を受けました。

質疑応答・確認事項の整理

(1)動物愛護センター設置に至る経緯

従来の動物収容施設は老朽化や機能不足が課題となっており、「命を守る施設」「市民に開かれた啓発拠点」への転換が求められていた。単なる収容・管理施設ではなく、譲渡促進、適正飼養の啓発、子どもへの命の教育を担う拠点として整備する方針が示された。

市街地立地とした理由は、市民がアクセスしやすく、見学や学習機会を確保しやすいことを重視したためである。一方で、近隣住民からは騒音や臭気、夜間照明への懸念があり、説明会を複数回開催し、建物デザインや照明計画、運営ルールの工夫によって理解を得てきた。

(2)センター設置までの協議体制

設置検討段階では、行政内部だけでなく、獣医師会、動物愛護団体、地域関係者、設計関係者などが参画する協議体制を構築し、施設機能、運営方針、地域との調和、ボランティアの関わり方などについて段階的に検討を重ねた。

特に「行政主導に偏らず、現場の知見を反映する」ことを重視し、実務的な運営課題を設計段階から織り込んだ点が特徴だと感じました。

(3)動物愛護ボランティアとの連携

ボランティアは、犬猫の世話、譲渡支援、啓発イベントの運営補助などに関わっており、行政職員と役割分担を行いながら協働している。

一部業務については委託化も行われており、専門性や継続性を確保しつつ、行政負担の軽減を図っている。ボランティアの育成や情報共有にも力を入れており、単なる労働力ではなく「パートナー」として位置付けている点が印象的でありました。

(4)収容・譲渡等の実績

市内における野犬はほぼ発生しておらず、犬の常時収容展示は行っていない。猫の保護・譲渡を中心とした運営となっており、譲渡促進のため、健康管理・トレーニング・環境整備が徹底されている。

殺処分数は年々減少傾向にあり、譲渡率の向上が成果として示された。保育園や小学校の見学受入も実施しており、延べ 200 名以上の来館実績があるなど、啓発拠点としての機能も着実に成果を上げている。

(※数値データについては、先方提供資料を別紙添付)

(5)ネーミングライツの導入

猫モデルルーム2室についてネーミングライツを導入しており、地元企業と年間 30 万円・5年契約を締結している。企業は学校給食用牛乳メーカーで、イベント協力なども行っている。

財源確保に加え、企業の社会貢献意識の醸成、市民への認知向上にもつながっており、公共施設における民間連携の好事例といえる。利用者からの反応も概ね好評で、施設イメージの向上にも寄与しているとの説明でありました。

成果・所感

本視察を通じて、動物愛護センターは単なる「収容施設」ではなく、「命を学び、地域と共に支える拠点」として機能していることを確認できました。

特に、市街地立地による市民アクセスの良さ、教育機関との連携、ボランティアとの協働体制、ネーミングライツによる財源確保と民間連携など、複合的な工夫が施設運営の質を高めている点は大きな成果である。

また、設置段階から丁寧な住民説明と合意形成を重ねたことが、現在の安定した運営につながっている点は、今後四日市市において類似施設を検討する際の重要な示唆となる。

四日市市においても、動物愛護・適正飼養の推進、地域猫対策、防災拠点としての活用、市民協働の仕組みづくりなど、多角的な視点から施設整備・機能強化を検討していく必要があると感じた。

本視察の成果を、今後の政策提案および議会活動に活かしていきたい。

今後の本市でもセンター設置について課題についても、とても貴重なご意見が伺えました。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会							
参加者氏名	水谷一未							
用務先	あすまいる(津市)							
実施日	令和8年1月29日 (木)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/29	四日市 ~ 津	42.5 KM	自家用車	1,573 円	円	円	(1泊目)	(1泊目)
	津 ~ 四日市	42.5 KM	自家用車	1,573 円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				3,145 円	0 円	0 円	0 円	0 円
合 計				3,145				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究)、研修、要請・陳情活動、会議) 報告書

令和8年1月30日

実施日時	2026年1月29日（水）14時00分～16時00分
参加者氏名	市民目線の会 水谷一未
用務先	津市 「あすまいる」三重県動物愛護推進センター
対応者	三重県動物愛護推進センター（あすまいる）愛護推進課 所長 南川 喬子
目的・内容	別紙参照
成果・所感	別紙参照

別紙添付あり

目的・内容

三重県動物愛護推進センター「あすまいる」(津市)における動物愛護行政の取組状況を把握し、犬猫の収容・譲渡、殺処分ゼロに向けた施策、TNR(捕獲・不妊去勢・元の場所へ戻す)活動、啓発・人材育成、災害時対応などの実態を調査し、本市施策への活用可能性を検討することを目的として実施しました。

施設では、「命をつなぐ拠点」として、単なる収容施設ではなく、譲渡推進、健康管理・医療、危機管理、啓発・研修の四つの機能を担っていることについて説明を受けた。犬と猫を完全に分離した飼養環境、診察室・手術室・トリミング室・行動修正スペース等の整備により、動物のストレス軽減と福祉向上を重視した施設設計がなされている。また、三重県では「第三次三重県動物愛護管理推進計画」に基づき、殺処分数ゼロを目標に掲げ、環境省基本指針に沿って処分理由の整理と引取り数削減、譲渡促進を進めている。噛傷事故などが発生した場合でも、直ちに殺処分とするのではなく、行動評価や訓練、団体譲渡など多様な選択肢を検討する運用が行われている点について確認した。譲渡促進策としては、ホームページや SNS による情報発信、不妊去勢手術の徹底、マイクロチップ装着、譲渡後のフォロー体制の整備が進められている。手術費用はふるさと納税を財源とし、県内指定動物病院への委託により実施されている。

猫の繁殖抑制対策としては、クラウドファンディング等を活用した TNR 事業を展開し、月 1 回の一斉手術では 1 日約 100 件の手術を実施しているほか、捕獲状況に応じて協力動物病院での個別手術も併用している。また、乳飲み子猫をボランティア家庭で育成する「子猫育成サポーター制度」により、譲渡率向上と職員負担軽減を図っている。

さらに、学童や体験学習、飼育前講座、ペット防災セミナー等の啓発活動を積極的に展開し、災害時には迷子動物対応や同行避難を前提とした体制整備を進めていることについて説明を受けた。

成果・所感

今回の視察を通じて、動物愛護施策は単なる保護・収容業務ではなく、「命をつなぐ仕組みづくり」「地域課題の予防」「市民意識の醸成」を一体的に進める総合政策であることを改めて認識した。特に、譲渡促進と不妊去勢の徹底、SNS を活用した情報発信、TNR の計画的実施、ボランティアとの協働体制は、殺処分数の抑制と収容数減少に着実な成果を上げており、行政単独ではなく多様な主体と連携することの重要性が明確になった。

一方で、獣医師不足や 365 日対応による職員負担、ボランティア依存の持続性、市民の地域猫・TNR への理解不足など、制度の持続可能性に関する課題も確認された。動物愛護行政は法制度の制約を受ける分野であるからこそ、地域理解と人材確保、安定財源の確保が不可欠である。本市においても、犬猫の適正飼養の啓発、災害時のペット対応、TNR 支援のあり方、譲渡促進体制の整備などについて、今回の視察で得た知見を踏まえ、実情に即した施策の検討を進める必要があると考える。動物愛護の取組は、命の尊重だけでなく、地域の安全・環境・共生社会の実現にも直結する重要な政策分野であり、今後の市政運営に積極的に活かしていきたい。

領 収 書

領収書管理NO. 0267493801
注文番号 ADNEEWMW

発行日：2026年 2月 2日
領収日（最終出荷日）：2026年 1月29日

水谷一未 様

領収金額（税込） **¥11,410-**
うち消費税等 ¥1,037-

但し アスクル商品代金（クレジットカード決済）

上記の金額 正に領収いたしました。

東京都江東区豊洲3-2-3
アスクル株式会社
登録番号T5010601030357

内訳	数量	単価（税込）	金額（税込）
リサイクルコピーペーパーR100 A4 1箱（5000枚：500枚入×10冊）	1	4,800	4,800
コピー用紙 マルチペーパー スーパーエコノミー+ A4 1箱（5000	1	4,270	4,270
パナソニック アルカリ乾電池 エボルタ 単4形 LR03EJ/20SW 1	1	2,340	2,340

[軽] は軽減税率（8%）対象商品です。

10%	11,410円	うち消費税等	1,037円
8% [軽]	0円	うち消費税等	0円
8%	0円	うち消費税等	0円
非課税	0円	うち消費税等	0円



内 訳 明 細

令和8年 1月分 No. 1
市民目線の会

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	80,669	複合機使用料、リース料、
合 計	80,669	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

ご請求書 (お引落のお知らせ)

四日市市議会 御中

いつも格別のお引立てを賜り誠に有難うございます。
下記の通りご請求申し上げます。

お客様番号 : BAO296-0006-01
請求書No. : 87128949
締日 : 2025年12月分
ご請求額 (税込) : ¥27,107-



2025年12月26日



キヤノンマーケティングジャパン株式会社

登録番号 : T5010401008297

お支払方法 : ご指定口座より振替させていただきます。
お引落日 : 2026年01月23日
お引落口座 : 三十三銀行

四日市市役所内支店

契約書No. K230196871 設置先名 四日市市議会 市民目録の会
製品名 IR-ADVC3826F シリアルNo. 4CC17426

請求期間 2025/11/25~2025/12/25 伝票No. KE000153068663

品名	今回値	前回値	ご使用数	数量・月数	単価	金額
1 カラーコピー	20,010	18,787	1,217	1,217	13.00	15,821
2 カラープリンタ	13,027	12,442	583	583	13.00	7,579
3 ブラック	18,240	17,407	829	829	1.50	1,243
1 カウンタ保持料						
2 カラーコピー						
3 カラープリンタ						
3 ブラック						

(ミニマム 200枚/月含む)

<各種サービス料金合計>

料金合計 (税抜) 24,643
(10%対象) 24,643
消費税等 2,464
ご請求額合計 27,107

年	月	日	符号	お支払金額(円)	お預り金額(円)	差引	残高(円)	備考
1	7-	8-16	100	お利息	*66		*166,619	105
2	7-	8-25	900	セムカツトウヒ(キ)カイシ	*227,969		*394,588	105
3	7-	8-25	200	／ *15,144	SMBC(キヤノン)		*379,444	105
4	7-	9- 3	200	*21,450	シャ-フ-ファイナンス		*357,994	105
5	7-	9- 9	200	／ *204,437	田中証券		*153,557	105
6	7-	9- 9	200	／ *8,520	水谷証券		*145,037	105
7	7-	9-24	200	／ *18,938	SMBC(キヤノン)		*126,099	105
8	7-	10- 3	200	／ *21,450	シャ-フ-ファイナンス		*104,649	105
9	7-	10- 8	200	／ *5,052	SIMカード利用料		*99,597	105
10	7-	10-20	900	セムカツトウヒ(キ)カイシ	*76,982		*176,579	105
11	7-	10-23	200	／ *20,550	SMBC(キヤノン)		*156,029	105
12	7-	10-27	200	／ *12,276	ニホン赤ウツヨキヨウカイ		*143,753	105
13	7-	11- 4	200	／ *21,450	シャ-フ-ファイナンス		*122,303	105
14	7-	11-20	900	セムカツトウヒ(キ)カイシ	*59,328		*181,631	105
15	7-	11-25	200	／ *20,497	SMBC(キヤノン)		*161,134	105
16	7-	12- 3	200	／ *21,450	シャ-フ-ファイナンス		*139,684	105
17	7-	12-23	200	／ *8,976	SMBC(キヤノン)		*130,708	105
18	7-	12-24	200	／ *1,686			*129,022	105
19								
20								
21								
22								
23								
24								

T1, T2, T3, T4-00

小切手、手形等入金 (〇〇は、払戻しができる予定の日を表示いたします。
また払戻しできる時刻は小切手等の種類によって異なります。詳細は窓口へ
お問い合わせください。)

ご請求書 (お引落のお知らせ)

四日市市議会 御中

いつも格別のお引立てを賜り誠に有難うございます。
下記の通りご請求申し上げます。

お客様番号 : BA0296-0006-01
請求書No. : 86662673
締日 : 2025年11月分
ご請求額 (税込) : **¥8,976-**



2025年11月26日



キヤノンマーケティングジャパン株式会社

登録番号 : T5010401008297

お支払方法 : ご指定口座より振替させていただきます。
お引落日 : 2025年12月23日
お引落口座 : 三十三銀行

四日市市役所内支店

契約書No. K230196871 設置先名 四日市市議会 市民目録の会
製品名 IR-ADVC3826F シリアルNo. 4CC17426

品名	今回数	前回数
1 カラーコピー	18,787	18,676
2 カラープリント	12,442	11,979
3 フラック	17,407	16,922

品名	数量	月数	単価	金額
1 カラーコピー	111	1	13.00	1,443
2 カラープリント	461	1	13.00	5,993
3 フラック	483	1	1.50	724

(ミニマム 200ページ/月含む)

請求期間 2025/10/24~2025/11/25 伝票No. KE000152099456

品名	数量	月数	単価	金額
1 カラーコピー	111	1	13.00	1,443
2 カラープリント	461	1	13.00	5,993
3 フラック	483	1	1.50	724

料金合計 (税抜) 8,160
(10%対象) 8,160
消費税等 816
ご請求額合計 8,976

領 収 証 書 (公)

市町村コード	三重県	口座番号	加入者名
2 4 2 0 2 1	四日市市	00820-1-960965	四日市市会計管理者
〒 510-8601			
住 所 三重県四日市市識訪町1-5			
市民目線の会			
代表者 小林 博次 様			

金額	¥1,686 円
納期限	令和 7 年 12 月 25 日
摘要	議員タブレットSIMカード利用料(令和7年9月、10月利用分 市民目線の会)

令和 7 年度 所属 951000 議事課
 会計 01 款 22 項 05 目 04 節 02
 細節 20 議会費雑入
 細々節 010 通信料負担金

納付場所

上記のとおり納入してください
 令和 7 年 11 月 17 日



四日市市長



上記のとおり納入しました。
 (納入者保管)